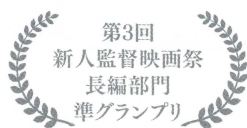
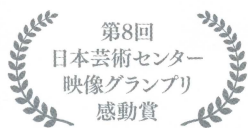




隣人のゆくえ —あの夏の歌声—




あいうえお このくにのことは そのふたことから はじまるのです あい



40名の中高生が世界中に問いかける感動のミュージカルの幕が上がる

出演:正司怜美/福田 麗/江藤心愛/平島咲良/吉田 玲/岡本ゆうか

監督・脚本:柴口 勲 制作地:山口県下関市  梅光学院中学校・高等学校





Story

両親の別れた日、カナナは忘れ物を取りに学校へ戻る。校内の歌声に誘われて着いたのはミュージカル部だった。「夏休みの間私たちのたつた一人の観客になって」と頼まれた彼女は、迷いつつも部室へと通い始めるのだが――

奇蹟の映画と出逢った。

林宣彦

(映画作家・大林宣彦)

奇蹟のような映画、観せて戴きました。まるで映画が今、この世に誕生したみたいです。映画の初心。穢れなく、こよなく純真。少女らの一瞬一瞬に時が止まり、また流れ、映画独自の私的な時間を刻んでゆく。いい思い出が残像していく。かけがえない、とにかえしのつかぬ… …その少女の時間は、かりそめの生、はかない生の存在を予感させ、そして、――淡々と語るが故に怖さがつのる、戦争の記憶!。――生きて、生きて!。私的な思いが一気に普遍となる。これが劇!

少女らの実年齢に驚きました。正に無垢なり。一所懸命に唄を学び、舞踏を練修し、伝える事に励んだ。生きるとは、一所懸命なり! それが命の尊さを伝える。失ってはならぬ人の心を語り継ぐ。彼女らの創意と努力と、一瞬をもおろそかにせぬ一所懸命に拍手を! 彼女らの表現力を以って、この映画は映画たり得た。しかも、奇蹟の映画に。

この素晴らしい少女らと共に時を送り、このような映画を生み出された柴口勲監督の映画愛と力量には感服致した。信じる力があるからこそです。映画を信じ、この世に穏やかなる日々の創造し得ることを信じ、そして目の前にいる少女らのかげく、力強い息遣いの永遠なる事こそ信じる力と美しさ。まことに力強く、美しい映画を見せて戴きました。いま、とても幸福です。映画の歴史のある限り、拍手は鳴りやまぬでしょう。



助監督(15才)



撮影(16才)



録音(16才)



音楽(15才)



振付(16才)



戦後70年を胸に、市街地の空襲で焼け落ちて再生した山口県の梅光学院を舞台に作られた。この空襲を記録した写真を取り入れるとだけ決め、あとは白紙からスタート。中高生40名とワークショップを1ヶ月間重ね、こぼれ落ちたものから適性を見定める日々が送られた。そこから物語が生まれ、歌が生まれ、キャストとスタッフが振り分けられていく。また偶然にも70年前のその写真を撮った写真家のひ孫が参加しており彼女が撮影を担当することになる。独りのサラリーマンと、出演・撮影・録音・照明・作曲・演奏・振付・歌唱・他を中高生40名が手がけて創作したミュージカル映画がここに誕生した。

乙女のROADSHOW 特別鑑賞券 1,200円(税込)発売中 (当日一般1,800円)

8月12日(土)

新宿 K's cinema

新宿駅東南口階段下 甲州街道ドコモショップ左入
TEL.03-3352-2471

8月19日(土)

シネマ 横浜 **ジャンク&バー**

横浜市中区若葉町 3-51
TEL.045-243-9800



配給協力・宣伝 細谷隆広 77分 ©2017 SHIBAGUCHI FILM
映画公式HP <https://rinjinyukue.wixsite.com/rinjinyokue>